



2023年度 環境経営レポート

対象期間 2023年 3月～2024年 2月



私たちは持続可能な開発目標
(SDGs)を支援しています



北斗測量設計株式会社

発行日 2024年 7月 9日

環境経営方針

当社は、測量及び土木設計を主とする事業活動において、環境保全・環境負荷の低減を図るために経営における課題とチャンス定期的に明確化し、新たな技術の導入・他業種との情報交換に努め、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組推進します。また、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン）
3. 一般廃棄物の削減及び再生利用を推進します。（廃棄物排出量の削減）
4. 水道使用量の削減を推進します。（水使用量の削減）
5. 地域美化活動への参加につとめます。
6. 測量業務の環境配慮を推進します。（間伐材の使用・環境配慮製品の提案）
7. SDG s を積極的に推進します。

当社の取り組みと関連するSDG s



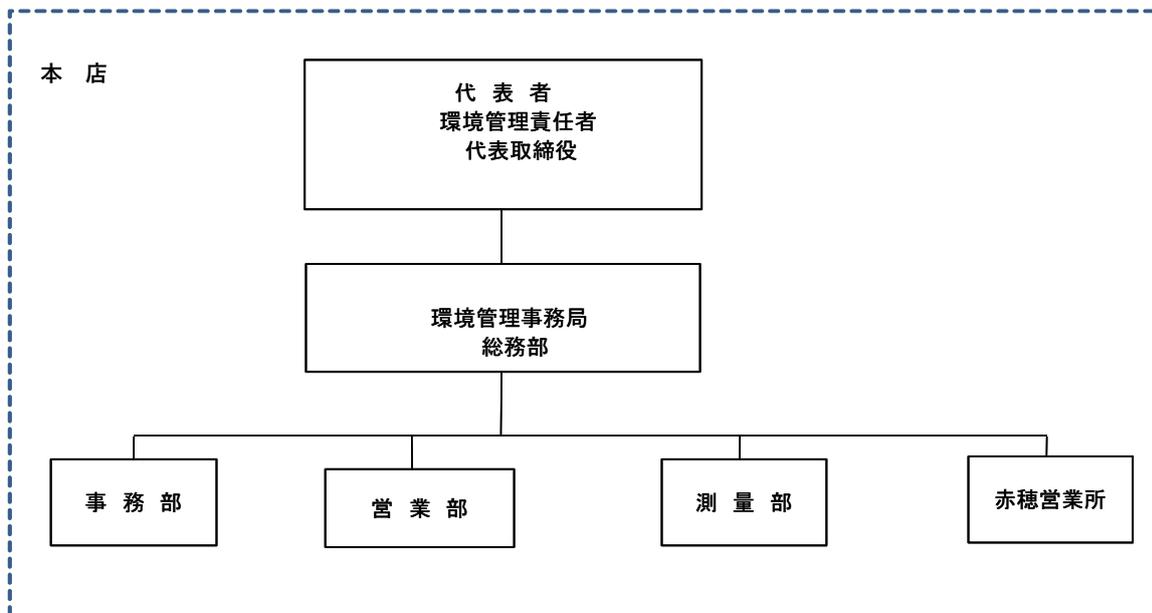
8. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日： 2011年 7月28日

改定日： 2024年 3月25日

代表取締役 長谷川 賢宏

□実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（代表取締役）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	6,676	4,404	7,405	8,261	4,209
電力	kWh	4,815	5,117	4,810	4,709	4,751
ガソリン	L	2,138	1,112	2,453	2,839	1,086
都市ガス	m ³	12	13	12	10	10
廃棄物(一般)排出量	kg	59.00	57.50	56.00	39.00	25.00
水使用量	m ³	21	34	32	39	47

* 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は2020年度関西電力公表の0.351kg-CO₂/kWh（調整後排出係数）を使用しています。

□環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

項目		年度	2021年度 基準年度 実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
I. CO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂		7,405	7,390	7,390	7,390
	対基準			△0.2%	△0.2%	△0.2%
 電力使用量 削減	kWh		4,810	4,800	4,800	4,800
	kg-CO ₂		1,688	1,685	1,685	1,685
	対基準			△0.2%	△0.2%	△0.2%
	 ガソリン使用量 削減 (参考)	L		2,453	2,448	2,448
kg-CO ₂			5,690	5,679	5,679	5,679
 ガソリン車 燃費向上 (2019年度より)	km/L		15.48	15.71	15.80	15.90
	対基準			0.23向上	0.32向上	0.42向上
II. 廃棄物(一般) 排出量の削減 	kg		56.00	55.44	55.44	54.88
	対基準			△1.0%	△1.0%	△2.0%
III. 水使用量の 削減  	m ³		32	32	32	32
	対基準			現状維持	現状維持	現状維持
IV. 測量業務の環境配慮 (P5*参照)	-		環境配慮 実施確認	環境配慮実施	環境配慮実施	環境配慮実施

* 当社では化学物質の使用実績はありません。

注1) 都市ガス使用量は微量のため削減目標に含めていません。二酸化炭素排出量総量には含めています。

注2) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は2020年度関西電力公表の0.351kg-CO₂/kWh（調整後排出係数）を使用しています。

(2) 2023年度の実績

項目	年度	2023年度における実績				
		基準	(2023年3月～2024年2月)			
			2021年度	目標	実績	達成度
I. CO2排出量合計	kg-CO ₂	7,405	7,390	4,209	176%	○
	対基準		△0.2%	△43.16%		
 電力使用量削減	kWh	4,810	4,800	4,751	101%	○
	対基準		△0.2%	△1.2%		
 ガソリン使用量削減(参考)	L	2,453	2,448	1,086	225%	(○)
	対基準		△0.2%	△55.7%		
 ガソリン車燃費向上	km/L	15.48	15.71	17.44	111%	○
	対基準		1.5%向上	+12.6%		
II. 廃棄物(一般)排出量の削減	kg	56.00	55.44	25.00	222%	○
	対基準		△1.0%	△55.4%		
III. 水使用量の削減	m ³	32	32	47	68%	×
	対基準		現状維持	+46.9%		
IV. 測量業務の環境配慮 (*参照)	-	環境配慮 実施確認	環境配慮 実施確認	環境配慮 実施確認	100%	○

注1) 評価欄にて、○：達成100%以上、△：やや未達成100%未満80%以上、×：未達成80%未満

注2) 実績は基準年に対して {(実績値/基準値)-1} × 100%

達成度は目標に対する実績の割合(目標値/実績値) × 100%です。

* IV. 測量業務の環境配慮

環境に配慮した測量時のチェックリスト(月毎)

1. エコドライブの推奨 (エコ運転10の勧め教育)
2. 伐採時は最低限度に留める
3. 測量資材の再利用
4. 火気厳禁
5. ごみの持ち帰り (現場発生品の処理)
6. 測量成果の電子管理
7. 測量図書チェック時の裏紙使用

*下記、随時

8. 緊急事態手順書の確認
9. 資格取得の支援



活動・取り組み内容		関連SDG s
C O 2 排 出 量 削 減	(1) 電力使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃） ・エアコンのフィルター清掃 ・窓の開閉による外気の活用 ・不要照明の消灯 ・設備の空転禁止 ・クールビズ、ウォームビズの徹底 ・グリーンカーテンを活用 	 
	(2) ガソリン使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップの徹底 ・必要な機器、用具のチェック ・効率の良いルートを選定 ・燃費の向上 	  
	一般廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ミスコピーの防止 ・裏紙面使用 ・両面プリントの促進 ・茶殻・落葉等を堆肥にする ・簡易梱包、電子化の工夫 	
	水道水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 ・水道設備の点検 ・節水蛇口シャワーの使用 	 
	グリーン購入の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の優先購入 	
	測量業務の環境配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・測量時の伐採は必要最低限にする ・木杭は間伐材を使用する ・設計時に環境配慮製品を提案 ・杭、鋸の再利用 ・測量成果の電子管理 ・資格取得の支援 	      
	社会貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な清掃活動の参加 ・UAV講習会の参加 ・使用済み切手の寄付 ・使用済みインクカートリッジの回収協力 ・エコキャップ活動 ・子ども見守り110番 ・災害協定の締結 	      

□環境経営活動の取り組み結果と評価

期間 2023年3月～2024年2月

評価凡例 ◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

活動・取り組み内容		取り組み結果と評価	関連SDG s
CO2 排出量 削減	(1) 電力使用量の削減	◎	
	・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）	節電は定着している。 今後も継続していきたい。	 
	・エアコンのフィルター清掃		
	・窓の開閉による外気の活用		
	・不要照明の消灯		
	・設備の空転禁止		
	・クールビズ、ウォームビズの徹底		
・グリーンカーテンを活用			
(2) ガソリン使用量の削減	◎		
・エコドライブの徹底	エコドライブは徹底できている。 今後もエコドライブに努めたい。	  	
・アイドリングストップの徹底			
・必要な機器、用具のチェック			
・効率の良いルートを選定			
・燃費の向上			
一般廃棄物の削減	◎		
・ミスコピーの防止	目標は達成できた。 今後も積極的に取組たい。		
・裏紙面使用			
・両面プリントの促進			
・茶殻・落葉等を堆肥にする			
・簡易梱包、電子化の工夫			
水道水使用量の削減	△		
・節水の周知徹底	節水は継続できているが、 目標は達成できなかった。 今後もより一層節水に努めたい。	 	
・水道設備の点検			
・節水蛇口シャワーの使用			
グリーン購入の促進	◎		
・エコマーク商品の優先購入	今後も選定し購入する。		
測量業務の環境配慮	◎		
・測量時の伐採は必要最低限にする	今年度は1名測量士資格 を取得できた。 今後も積極的な提案、取組 を継続したい。	      	
・木杭は間伐材を使用する			
・設計時に環境配慮製品を提案			
・杭、紙の再利用			
・測量成果の電子管理			
・資格取得の支援			
社会貢献活動	◎		
・定期的な清掃活動の参加	今年度も姫路港埠頭用地 広畑緑地の清掃活動に参加 した。その他の活動も継続 できている。 今後も社員一同、積極的に 社会貢献活動に参加したい。	      	
・UAV講習会の参加			
・使用済み切手の寄付			
・使用済みインクカートリッジの回収協力			
・エコキャップ活動			
・子ども見守り110番			
・災害協定の締結			

期間 2024年3月～2025年2月

活動・取り組み内容（*は見直しまたは新規追加活動）		関連SDGs
CO2排出量削減	(1) 電力使用量の削減 ・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃） ・エアコンのフィルター清掃 ・窓の開閉による外気の活用 ・不要照明の消灯 ・設備の空転禁止 ・クールビズ、ウォームビズの徹底 ・グリーンカーテンを活用	 
	(2) ガソリン使用量の削減 ・エコドライブの徹底 *現場ごとにエコドライブの重点的な目標を決める ・アイドリングストップの徹底 ・必要な機器、用具のチェック ・効率の良いルートを選定 ・燃費の向上	  
	一般廃棄物の削減 ・ミスコピーの防止 ・裏紙面使用 ・両面プリントの促進 ・茶殻・落葉等を堆肥にする ・簡易梱包、電子化の工夫	
	水道水使用量の削減 ・節水の周知徹底 ・水道設備の点検 ・節水蛇口シャワーの使用	 
	グリーン購入の促進 ・エコマーク商品の優先購入	
	測量業務の環境配慮 ・測量時の伐採は必要最低限にする ・木杭は間伐材を使用する ・設計時に環境配慮製品を提案 ・杭、鋸の再利用 ・測量成果の電子管理 *現場の状況に合わせた注意点の周知	      
	社会貢献活動 ・定期的な清掃活動の参加 ・講習会の参加 ・使用済み切手の寄付 ・使用済みインクカートリッジの回収協力 ・エコキャップ活動 ・子ども見守り110番 ・災害協定の締結	      

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

遵守評価日 2024年 3月 25日

適用される法規制	遵守すべき要求事項	評価
廃棄物処理法	委託基準・一般廃棄物収集運搬業の許可の確認	遵守
消防法（危険物）	消火設備の定期点検	遵守
測量法	公共測量作業規定 公共測量作業規定準則	遵守
補償コンサルタント登録規程	補償コンサルタント登録規程第5条	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

関係当局よりの違反等の指摘もありませんでした。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

来年度よりエコアクション21活動とSDGs 17の目標との関連を意識した取り組みを進めることにしました。そのため今年度の結果をSDGs 17の目標と比較しやすいよう、環境活動レポートを刷新しました。これを機会に視野を広げ、社員一同で活発に意見を交換し、より積極的に環境活動・社会貢献に参加していきたいと考えています。

今年度は水使用量の削減が達成できませんでしたが、その他の項目は目標を達成することができました。一部業務の内容によりガソリンの使用量が減少しましたが、期間が限られているため目標は据え置くことにしました。また、自然環境の変化、現場の状況に合わせた緊急事態手順書を作成し、より安全でスムーズな業務環境づくりに努めます。

事業活動に大きな変化がないため、環境経営方針環境経営目標・環境経営計画及び実施体制については変更しません。次年度も社内一丸となって継続的な環境活動・持続可能な社会づくりに努めていきます。

2024年3月25日

代表取締役 長谷川 賢宏

□環境活動（一部例）

CO₂ 排出量削減



○節電活動



○グリーンカーテン(アサガオ)



一般廃棄物の削減

○ゴミの分別



水道水使用量削減

○節水活動



社会貢献活動



○使用済み切手の寄付



○インクカードリッジの回収協力



○エコキャップ活動

